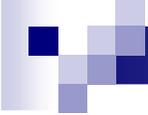


ALL ABOUT “NEET”

Produced by teen's



ここに、一人の若者T君がいる。

- 彼は大学進学後、人間関係になじめずに中退。
- 彼は仕事の実態が見えないまま、若年層の就職内定率の低さ、過労死、リストラ、企業の即戦力志向強化といった情報を彼はメディアから十二分に耳にする。そして就職が難しい状況を理解し、仕事をする事へのマイナスイメージを抱いた結果、自分の未来を悲観視して、無職のままにいる。
- 彼のような人が今日本では「ニート」と呼ばれる人種だ。

果たしてニートとは一体どういうものなのか？



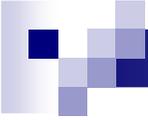
ニートの語源

ニート/NEET

Not in Education Employment or Training

つまり、

「学生でもなく働いてもなく、働くための訓練をしているのでもない人」を指す。



ニートの歴史

- 発祥はイギリス
- 1970年代 サッチャー首相のころ
- 原因(とされるもの): 経済改革政策の副作用による産業構造の変化に伴う若者の失業率の急増と若年者訓練制度の不徹底
- 日本で使われるようになったのはごく最近であり、その定義は曖昧。
- 欧州と日本における定義にはズレがある。



ニートの定義

- 欧州諸国：政府の就業訓練対策に参加しない若者
- 日本：曖昧。
 - * 厚生労働省：学校を卒業後、通学や家事を行っていない未婚の15－34歳
 - * 内閣府：自称家事手伝いの中には無業者が相当数含まれる



若年者の雇用・失業情勢

- 求人倍率低下
- 無業者の増加
 - 高卒で10%超、大卒で20%超
- 若年失業者の増加
 - 自発的離職者が多い
 - = 早期離職率が高い！



問題の背景

- (1) 産業構造の変化
- (2) 新規学卒者の進路選択の多様化
- (3) 職業意識の変化
- (4) 社会環境の変化



外国におけるNEET

- イギリス

- コネクションズサービス

- スウェーデン

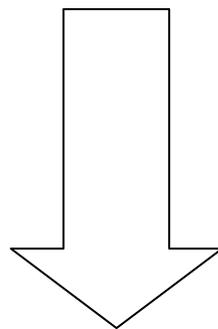
- 地方自治体発達保障プログラム

今後どうしていったらいいのか？

厚生労働省の
支援

地方自治体の
支援

企業の
雇用対策



それ以上に・・・



若者の意識を変えていく教育を！

職業観の形成

主体的な進路開拓　　のために…

積極的なキャリア教育を行うべき。

1999年12月の中央教育審議会答申

→キャリア教育の拡充を求める。



具体的な実践方法

- 普通科高校・・・職業観を育てる授業
目標を持った大学・学部選択
- 大学・・・職業とつながる授業
- 企業・・・積極的なOJTの実施